

# 轟小だより



令和5年度テーマ「わくわく」～一人一人の願いを実現する轟小学校～

令和5年度6月号

児童も、家庭・地域も、職員も幸せな学校に（轟小は3台の車が一つになって前に進む）

発行 日光市立轟小学校

## 第1回学校運営協議会～地域の教育力発動！～

6月7日、第1回学校運営協議会を開催しました。今年度から本格実施となりましたこの協議会は、学校と地域の方々が共に学校運営や児童育成に取り組んでいくために、顔を合わせてコミュニケーションを図る場です。協議会では本校の経営を後押ししてくれる意見・感想がたくさん出され、会長さんを中心とした組織の絆づくりができました。



【委嘱状交付：市教育委員会から一人一人交付されました。】



【授業参観】

## 特色ある学校づくり～地域に学ぶ～

本校は、地域の方々や歴史・自然など、地域から学ぶ学習を特色としています。コロナ禍に中止された行事もありましたが、本校の教育に欠かせない地域学習は少しずつ再開させています。



【朝の読み聞かせ】  
読書ボランティアさんに、月一度来ていただきます。心に染みるお話が、豊かな心の成長につながります。



5/30

【とどぽんタイム】

地域に住む渡邊さんに、体験談「キリマンジャロ登山」を語っていただきました。世界規模のお話に、子どもたちも聴き入りました。



6/12

【社会科見学】

4年生が、市内公共施設を見学してきました。実際に見て、説明を聞いたり質問しながら、自分たちにも深く関係する公共の仕組みを理解しました。

# R5学校経営 育てたい資質・能力は4つ

## ①主体性、②コミュニケーション力、③問題解決力、④自尊心

今回は、育てたい資質・能力②「コミュニケーション力」についてお伝えします。

本校で設定する「コミュニケーション力」とは、思いを伝えたり共感したり協働したりしながら、相手とつながり続ける力を指します。コミュニケーション力を発揮する場面は2つあります。

一つは自分が成長する場面です。自分だけでは解決できない問題を、周りの助言や力を取り入れて解決したとき、人は成長できるそうです。つまり、成長する過程で助けを求めたり逆に助けてあげたりするとき、このコミュニケーション力が必要となります。学校生活の様々な活動で友達と助け合いながら解決していく活動を設定し、この力を発揮しながら共に成長できることを期待しています。

二つ目は思考・判断・表現力を育成する場面です。自分の考えを更に深めるためには、自分の考えを誰かに伝えたり他人の考えを取り込んだりするなど、つながることが必要です。また、今まで経験したことのない決断に迫られたり、周囲に発信したりするときにも、他とのつながりが必要とされます。しかも自分と異なる意見を持つ人とつながっていくことが重要なのです。AIの発展とともに様々な情報が得られやすくなり、自分でできることが増えたとしても、人と人とのつながりは欠かせません。本校は複式・小規模の強みを活かし、異学年・全校生の活動を多く設定しコミュニケーション力を育てています。



異学年で話し合い：  
ほかほか言葉には何があるかな？



1～3年生遠足：  
縦割り班でお弁当タイム



体力テスト：  
上級生に支えられて

## 7・8月の主な行事予定

※6/23現在

- 7月 4日 とどほんタイム（地域）
- 5日 避難訓練（不審者）  
家庭教育学級  
引き渡し訓練
- 7日 6年社会科見学
- 10日 清掃強化週間（～14日）
- 11日 とどほんタイム（表現）
- 12日 読み聞かせ
- 13日 4～6年日産オンライン  
工場見学
- 14日 クラブ
- 18日 とどほんタイム（遊び）
- 21日 1学期終業式
- 22日 PTA奉仕作業

- 8月 25日 2学期始業式、朝の交通指導
- 28日 発育測定
- 29日 とどほんタイム（地域）
- 30日 読み聞かせ
- 30日 委員会

轟小ホームページで、  
児童の様子を日々更新  
しています。どうぞ  
ご覧ください。



6/22 【↑給食を完食した1年生】

この日は、全校生が残飯ゼロでした。加えて欠席ゼロ。保健室利用者もゼロ。すくすくと成長できていることを、みんなで喜びました。

